

Q1. 戦後 1950～60 年代男子高校生(中学生)が使用していた米軍払い下げカバンを持った登下校の写真が見たい。上記以外でパラシュートを利用した女子のダンス服(バレエ着)や米軍払い下げ衣服の写真があれば見たい。(中央)

A1. 県立図書館のレファレンス検索で 1 冊の本が該当。また、那覇市歴史博物館のデジタル資料検索で写真資料が複数ヒットしたのでそれが載っている本を紹介しました。パラシュートを利用したウェディングドレスや子供服の写真が載っている本を数冊紹介しました。男子学生の登下校の写真は見つかりませんでした。

『0 (ゼロ) からの時代～戦後沖縄写真集～』那覇出版社編集部//編

『戦後 50 年おきなわ女性のあゆみ 年表』戦後 50 年おきなわ女性のあゆみ編集委員会//編

『戦後をたどる～「アメリカ世」から「ヤマトの世」へ～』那覇市歴史博物館//編

『大琉球写真帖』大琉球写真帖刊行委員会//編

Q2. 首里城の京の内にある御嶽について知りたい。場所がわかればそれも知りたい。(首里)

A2. 発掘調査資料有。京の内をインターネットで検索し、十嶽 (トク) や聞得大君などのキーワードからも検索し、京の内についての資料を何点か案内しました。

『首里城研究 (No.18)』首里城研究会//編

『首里城京の内展』沖縄県立埋蔵文化財センター//編

『首里御城へのご案内』沖縄博物館友の会//編

『首里城関係資料集』沖縄総合事務局開発建設部//編

Q3. 沖縄で正月に庭へ砂をまく風習について。海辺からきれいな砂を取って庭にまき、新年を迎えるという風習が今も残っている地域があるという。この風習について記載された本が見たい。(中央)

A3. 沖縄の行事や風習についての本を何冊か見て該当箇所について探しました。「沖縄風土記」の琉球歳時記のページ・1 2 月のところに「大人も子供も近くの海岸から白砂を運んで・・・」と正月の準備で砂を取ってくる様子が記載されていました。

『沖縄風土記』伊波 南哲//著

『沖縄の祭りと年中行事－沖縄民俗誌Ⅲ－』上江洲 均//著

Q4. 名護親方の以前のお墓の場所を知りたい。名護親方 (程順則) のお墓が以前若狭にあったようだが、その場所が分かる地図が見たい。一枚の地図に名前が載っているもの。(首里)

A4. 『那覇市史資料編第 2 巻中の 7』「那覇の民俗」付図の「旧那覇の歴史・民俗地図」に名護聖人の墓の記載有あましたので紹介しました。

『那覇市史資料編第 2 巻中の 7』那覇市企画部市史編集室//編

Q5. 安里川の上流を金城川と呼んでいたと記憶しているが、そう呼んでいたのはいつ頃までか。(中央)

A5. 『那覇市史』の目次、内容に記述がないか探しました。『那覇市史通史編-第1巻』に俗称として“金城川”と呼ばれていた記述がありましたので、資料を紹介しました。
『那覇市史通史編-第1巻』那覇市企画部市史編集室/編

Q6. 方言札の大きさが知りたい。実際に作って見せたい。(石嶺)

A6. 「方言札」で検索し出てきた資料の中から、『沖縄の方言札』を確認したところ、口絵に木製の方言札の写真と寸法図(縦長の五角形、縦17cm・横6.5cm、底辺5cm)が書かれていました。本文によると「平均的」とのこと。ほか、P31～p34に調査事例の記述が確認できましたので紹介しました。
『沖縄の方言札』井谷 泰彦/著

Q7. 正月飾りをかたづける日を知りたい(牧志)

A7. 沖縄の行事や風習についての本を何冊か見て該当箇所について探しました。『沖縄の年中行事』に旧暦の1月14日や1月20日と記載あり。ただし地域によっても異なるようです。本を紹介しました。
『沖縄の年中行事-方法と供え物 御願のグイヌ-』高橋 恵子/著

Q8. 首里十二カ所巡りの地図があるか。首里の寺の一枚物の地図があるか。汀良の井戸(カ一)にある拝所を知りたい。(首里)

A8. 首里十二カ所参りについての記載は多くあるが、地図一枚物としてはなく、資料の一部に地図はいくつかありましたので本を数冊紹介しました。
『門中拝所巡りの手引き-沖縄霊地の歴史と伝承-』沖縄の習俗研究会/編著
『沖縄民俗辞典』渡邊 欣雄/編著
『首里城周辺史跡マップ』海洋博覧会記念公園管理財団/編
『沖縄の冠婚葬祭』那覇出版社/編

Q9. 琉球絣の模様の意味、名称の由来を知りたい。(牧志)

A9. 沖縄の織物等についての本を何冊か見て該当箇所について探しました。『沖縄大百科事典(上)』p.707に、絣に関する柄の名称や由来、模様の意味が記載されていたので紹介しました。
『沖縄大百科事典(上)』沖縄大百科事典刊行事務局/編

Q10. ヒヌカンに使われる道具や供え物などについて知りたいので本が見たい。(中央)

A10. 沖縄の行事や風習等についての本を何冊か見て該当箇所について探し、本を4冊紹

介しました。

『琉球料理と御火の神様』 渡口 初美//著

『沖縄の祝祭と年中行事』 渡口 初美//著

『沖縄の習俗と信仰 増補改訂版』 窪 徳忠//著

『沖縄暮らしの大百科 -冠婚葬祭 年中行事 風水-』 那覇出版社//編

Q11. 聞得大君がノロに就任した時の行事のことが載っている本が見たい。(中央)

A11. 歴史関係の本を検索、中を確認して該当箇所について『沖縄大百科 上』P829、『琉球歴史の謎とロマン』P133に記載がありましたので紹介しました。聞得大君の行事については“お新下り(おあらおり)”と言われているようです。これに関する資料は多くありました。

『沖縄大百科事典(上)』 沖縄大百科事典刊行事務局//編

『琉球歴史の謎とロマン その四』 亀島 靖//著

Q12. 首里城が昭和20年に焼失したが、その日付が知りたい。(中央)

A12. 沖縄の歴史や首里城関連の資料の多くを探してみました。『沖縄大百科事典(中)』P649に“4月19日には首里城周辺が消失”とあるが、首里城そのものを特定はしていない。その他の資料でも、「昭和20年4月」や『沖縄県史 8巻』P320に「同年5月」の記載はある。首里城公園に問い合わせし、年表があるか、パンフレットに記載があるかも確認してもらったが具体的な日付はありませんでした。「昭和20年」のみ記載されているとのこと。調査したここまでの内容をお伝えしました。該当資料の特定には至りませんでした。ほかに沖縄県公文書館と那覇市歴史博物館を案内しました。

Q13. 琉球王朝時代にあった、冠や簪で身分を区別する制度について知りたい。また、その身分制の一覧表があればみたい。(中央)

A13. 位階制度といい、1509年に官位の品級を定めた制度。位階制は、正徳四(1509)年、ハチマキと簪をもって官位の品級を定めたのに始まる。

・琉球の歴史関連の本から記載がないか調べるも、詳しい記述なし。服飾関係の資料にあたる。『琉球服装史』→P94表(簪、帯、冠)『きからじの世界』→P52簪の種類(絵)どちらも記述が少ない。

インターネットで「按司・冠・かんざし・身分」などのワードで検索。ウィキペディアより“琉球の位階”の記述を見つけ、記載されていた参考文献より『沖縄門中大事典』を参照したところ記載有。この文献のP71「近世琉球の位階表」を紹介しました。

『沖縄門中大事典』 那覇出版社//編

『琉球服装史』 嘉数 津子//著

『きからじの世界』 小波 則夫//著

Q14. 伊江村の歴史や戦争について調べているので本が見たい。(中央)

A14. 歴史関係の本棚から該当しそうな本を何冊も探し、複数冊提供しました。

『伊江島の戦中・戦後体験記録』伊江村教育委員会／編

『シマが基地になった日ー沖縄伊江島二度目の戦争ー』真鍋 和子／著

『シマ第 8 号 琉球大学民俗学実習調査報告書』琉球大学法文学部人間科学科民俗学研究室／編

『負けて勝つとは 沖縄伊江島からの手紙』榎本 恵／著

『私の戦記 伊江島の戦闘～屋嘉捕虜収容所』山田 有昂／著

『米軍と農民 沖縄県伊江島』阿波根 昌鴻／著

『戦争体験談 伊江島徴用労務記』楠木 一生／著

Q15. 琉球王国時代に司法・立法・行政（三権）はあったのかについて知りたい。(中央)

A15. 沖縄の歴史関連の本棚から該当しそうな本を探しました。『沖縄門中大事典』に王府の行政機構図があったので紹介し、役職の説明については『沖縄大百科事典』にありましたので、紹介しました。

『沖縄門中大事典』那覇出版社／編

『沖縄大百科事典』沖縄大百科事典刊行事務局／編